

司 会 ①遠藤兄 ②瀧山兄 ③高山吉兄

奏 楽

祈 禱 ①石橋兄 ②久保田兄 ③土屋光兄

賛 美 聖歌292番「今日まで守られ」

(主を喜ぶことは)(み手の中ですべては変わる)

ヤバツの祈り

聖 書 ①②ヨハネによる福音書15章1～7節 (P166)

③ コリント人への第二の手紙6章1～10節 (P283)

音 楽 ① スペシャル映像

②③倉富亮太氏 & 白河俊平氏

証 詞 ①②碓井征彦兄(ヨシュア会)

メッセージ ①②「いよいよ豊かに実を結ぶ」 坪井永城副牧師

③ 「あなたのパートナーはどなたですか？」大川従道牧師

賛 美 「大波のように神の愛が」(献金)

頌 栄 「主の祈り」 アーメン

祝 禱

「わたしたちはまた、神と共に働く者として、
あなたがたに勧める。神の恵みをいたすうちに受けてはならない。」
(Ⅱコリント六の一)

【大和ニュース】

- ☆ 第三礼拝後『祝賀会』をいたします。白寿、米寿、喜寿、金婚式、銀婚式の方々のお祝いの会です。おめでとうございます。(☆井上姉は101才です！)
- * 本日は素晴らしいゲストをお迎えできて感謝です。コンサートチケット有り。
 - ・ 入門講座Ⅲ、手話、送迎駐車場、SS教師会、ICA禱援会、J.plus 等あり。
- ☆ 『インパーテーション・開所式礼拝』は本日15時と明日11時の2回。火曜と金曜10時～17時までオープンハウスになります。案内図は受付に。
 - ・ 東京カルバリーの礼拝は17時。説教は大川牧師(「12人の選びと聖務の不思議さ！」)
- * 祈禱会を大切に！①水曜夜は佐々木師と森田姉②木曜朝は久保田師と森田姉
 - ③金曜夜は船山補教師。(＊木曜日にサラの会)
- ・ アブラハム会掃除(土)。フットサル(土)。定例責任役員会は22日に変更。

石の枕

スペインのバルセロナに今建設中の「聖家族教会」は、1882年に最初の礎石が置かれて以来、今年で116年目になりますが、まだ延々と工事が続いています。アントニオ・ガウディという建築家も亡くなっていますが、この人の構想が模型となって工事が続行されています。

「いつ完成するんだろうか」。これが市民の挨拶の言葉になってしまいました。

「神様はお急ぎにならない」 Dios no tiemo prisa.

これもこの町のはやり言葉になっているそうです。

(以上は、1998年10月18日の週報コラムの一部です。突然見つけたので引用しました。この泉チャペルが2000年に献堂しましたので、その前の牧師のメッセージとも言えます。)

座間市から大和市に移転し、現在の森チャペルが建設されたのは、奇跡中の奇跡。何回礼拝をしても、満員御礼、玄関ロビーまで人人人であふれました。いやしがなされ、悪霊が追放され、救われる魂が年間100名を越えました。

大川牧師が77才を迎えられたのは、「奇跡の軌跡」物語である。40才でインドネシアのジャングルでマラリアにかかり、70才を越えてから、心筋梗塞、不整脈、肺炎等を体験し、救急車の世話になり、入院もし、「痛みの方分かる牧師」に育てていただいた。まさに「喜寿」であり「奇寿」でもある。それは愛兄弟の熱心な祈りに支えられてのことであり「祈寿」とも言える。

私個人のことだけではない。この教会も、宣教師たちによって、開拓されて、まもなく「喜寿」になる。勿論それは「奇寿」「祈寿」と立証したい。

本日の祝賀会の対象者には、それぞれに不思議な歴史があるであろう。本人でさえも知らない世界は、やがて天国で解説されて改めて感動する。

☆本日は、新宿にて新しい宣教が始められる記念すべき日である。このミニストリーが拡大されて、日本中に届けられるのに何年かかるだろう。文字通り「インパーテーション」(恵みを分け合う)は神の喜ばれる働きである。

主と共に喜びを分かち合いたい。ありがたくて、うれしくて、感謝いっぱい！！

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！
Aコース:Ⅱコリント7章～12章 Bコース:箴言28章～雅歌3章